



元気の源／「食べる」ということ

21日は、お弁当の日でした。愛情がいっぱい詰まったお弁当をにっこり笑顔でほおばる子どもたちを見ていて、こちらまで幸せな気持ちになりました。「家族が自分のために作ってくれた」という満たされた思いが子どもたちの笑顔になって表れているのだと感じました。

子どもたちの元気の源のひとつに「食べること」があげられます。「食べる」ということは、様々な栄養を取り入れて、丈夫な体を作るとのことと、感謝の心や楽しみの共有などの心の栄養を育むという2つの意義があると、本校の養護教諭が話していました。

過日、実施した「朝食を見直そう習慣運動」では、本校の児童は、朝食摂取率100%でした。また、1人で食べる「孤食」の割合が少ないという結果も見られました。これも保護者の皆さんが、日頃から子どもたちに、愛情を注ぎ、望ましい食習慣を形成されていることの表れだと、感謝いたします。



子どもたちは、食べることを通して、「毎日、家族が食事を作ってくれる安心感やありがたさ」、「一人ではなくみんなで食べる喜びや幸せ」などを味わっています。そして、体と心の両方に栄養が注がれています。

子どもたちは、今日も元気いっぱいです。何よりです。



【陸上の現地練習】

9月21日（火曜日）。高学年の子どもたちは、陸上大会の会場となる飯館村のグラウンドで現地練習を行いました。コースの確認、歩幅合わせ、ペースの調整など、本番を想定した練習に汗を流しました。自分の目標に向かって、精一杯力を発揮することを期待しています。また、他校の仲間との交流を通し、大きく成長することを願っています。

今年度は、コロナ禍の影響で無観客開催となりますが、子どもたちへの温かい励ましをお願いいたします。頑張れ！福田小の子どもたち。



【秋の全国交通安全運動】

現在、秋の全国交通安全運動が実施されています。9月30日までの期間中、地域の皆さんが朝早くから街頭に立ち、子どもたちの登校を見守ってくださっています。地域の皆さんに見守られ、元気に登校する子どもたち。今日も、「おはようございます」という元気な挨拶が朝の光に輝いています。

そんな子どもたちの姿を温かく見守り、安全を確保してくださる地域の皆さんに感謝いたします。

